

令和4年度スポーツ庁長官賞争奪

日本生命杯 第2回全日本少年少女空手道選抜大会実施要項

- 1 大会名 令和4年度スポーツ庁長官賞争奪日本生命杯第2回全日本少年少女空手道選抜大会
- 2 主催 公益財団法人 全日本空手道連盟
- 3 主管 全日本空手道連盟北海道地区協議会・北海道空手道連盟
- 4 後援 (予定) 文部科学省 スポーツ庁 (公財)日本スポーツ協会 (公財)日本オリンピック委員会 (公財)日本武道館 日本武道協議会 読売新聞社 NHK (公財)笹川スポーツ財団 (公財)ブルーシー・アンド・グリーンランド財団 空手道マガジン月刊 JKFan 北海道新聞社 UHB テレビ STV テレビ 十勝毎日新聞
- 5 場所 よつ葉アリーナ十勝 (帯広市総合体育館)
住所：〒080-0030 北海道帯広市大通北1丁目1番地
電話番号：0155-22-2828
- 6 日時 1日目：2023年2月17日 (金)
2日目：2023年2月18日 (土)
3日目：2023年2月19日 (日)

17日 (金)		18日 (土) 組手		19日 (日) 形	
		8:00	開場	8:00	開場
		8:30	組手競技開始式	8:30	形競技開始式
16:00	審判会議	8:50	組手競技開始	8:50	形競技開始
17:00	監督会議	17:30	組手競技終了 (予定)	17:00	形競技終了 (予定)
		18:00	組手競技表彰式 (予定)	17:30	形競技・総合表彰式 (予定)
		18:30	1日目終了 (予定)	18:00	2日目終了 (予定)

※審判会議並びに監督会議会場につきましては、後日連絡させていただきます。

- 7 種目
 - 組手競技：個人戦／1年生から6年生学年別男女別 (12種目)
 ※各地区協議会から1種目4名を選出する
 ：団体戦／男女別6人制 (1.2.3.4.5.6年生混合) (2種目)
 ※各地区協議会から1種目4チームを選出する
 - 形競技：個人戦／1年生から6年生学年別男女別 (12種目)
 ※各地区協議会から1種目4名を選出する
 ：団体戦／男女別3人制 (4.5.6年生混合または単独) (2種目)
 ※各地区協議会から1種目4チームを選出する

但し組手競技、形競技に関東地区協議会・九州地区協議会は、6名、6チームまでとする。
- 8 参加人員 個人戦、団体戦ともに地区協議会代表選手とし、監督・コーチを含め、次表のとおり

参加数内訳とする。個人戦出場選手は団体戦出場選手を兼ねることができる。同一選が組手競技、形競技の両方に出場することができる。

組手競技			形競技		
男子個人	各学年 4 名	計 24 名	男子個人	各学年 4 名	計 24 名
女子個人	各学年 4 名	計 24 名	女子個人	各学年 4 名	計 24 名
男子団体	4 チーム (1年～6年混合)	計 24 名	男子団体	4 チーム (4.5.6年混合 or 単独)	計 12 名
女子団体	4 チーム (1年～6年混合)	計 24 名	女子団体	4 チーム (4.5.6年混合 or 単独)	計 12 名
組手 各地区協議会 計 96 名			形 各地区協議会 計 72 名		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関東・九州地区協議会は、各種目 6 名、6 チームまで出場することができる。 ・ 監督 1 名、コーチ 6 名以内 (内 2 名は練習会場のみ) ・ 関東・九州地区協議会はコーチ 1 名を追加することができる ・ 開催地枠として、別途各種目 1 名 (個人戦のみ) 出場することができる。 					

- (1) 同一選手が組手と形の両方に出場することができる。
- (2) 同一選手が個人戦と団体戦の両方に出場することができる。
- (3) 男女組手団体戦のチーム編成
 - ① 個人戦出場選手もチーム編成に加わることができる。
 - ② チーム編成は 6 名とする。
 - ③ 男女共に、先鋒 (1 年生) 次鋒 (2 年生) 中堅 (3 年生) 4 将 (4 年生) 副将 (5 年生) 大将 (6 年生) とする。
- (4) 男女形団体戦のチーム編成
 - ① 個人戦出場選手もチーム編成に加わることができる。
 - ② チーム編成は補欠も入れて 4 名までとすることができる。
 - ③ 学年は 4 年生から 6 年生まで、異学年混合または同学年によるチーム編成を認める。

(1) 競技は、公益財団法人全日本空手道連盟空手競技規定及び本大会申し合わせにより行う。

9 競技方法

(1) 組手競技個人戦・団体戦

- ① トーナメント方式で行い、3 位決定戦は行わない。
- ② 競技時間は 1 分 3 0 秒フルタイムとする。
- ③ 勝敗は、競技時間内に 6 ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を、同点の場合は「先取」のある選手を勝ちとする。競技時間終了時に同点で「先取」がない場合、個人戦は判定をとって勝敗を決する。団体戦は引き分けとする
※団体組手の代表決定戦は、4～6 年の学年を抽選して決定し、その学年で行う。
- ④ 団体戦において、初戦は勝敗が決しても 6 人全員が競技する。
- ⑤ 競技規定、付録 10 : 14 歳未満の空手競技／組手試合 (12 歳未満) を適用する。

(2) 形競技個人戦

- ① 得点方式を採用する。
- ② 形の指定（個人戦）
 - (ア) 第1ラウンドは基本形とする。
 - (イ) 第2ラウンドは第1ラウンドで使用していない基本形もしくは第1指定形とする。
 - (ウ) 第3ラウンドは1指定形、第2指定形、基本形から選択し第1ラウンド、第2ラウンドで使用した形を繰り返してもよい。
 - (エ) メダルマッチは第1指定形、第2指定形、基本形から選択し、第1ラウンド、第2ラウンドで使用した形を繰り返し演武してもよい。
 - (オ) 団体戦メダルマッチにおける分解は実施しない。

(3) 形競技団体戦

- ① 得点方式を採用する
- ② 形の指定（団体戦）
 - (ア) 第1ラウンドは基本形とする。
 - (イ) 第2ラウンドは第1ラウンドで使用していない基本形もしくは第1指定形とする。
 - (ウ) 第3ラウンドは1指定形、第2指定形、基本形から選択し第1ラウンド、第2ラウンドで使用した形を繰り返してもよい。
 - (エ) メダルマッチは第1指定形、第2指定形、基本形から選択し、第1ラウンド、第2ラウンドで使用した形を繰り返し演武してもよい。

(4) 組手安全具

- ① 組手全種目に全空連検定品である小学生用拳サポーター(赤・青リバーシブル)、メンホーNo. 6以上、マウスシールド(メンホー口元に装着する)ボディプロテクター、小学生用インステップガードとシンガード(新型旧型共に可)を着装すること。なお、これらの安全具は選手各自において用意すること。

※安全具装着のない選手は出場できないので、充分注意すること

- ② 小学3～6年生男子組手出場選手は必ずセーフティカップを着装すること。1、2年生は所属の指導者(監督・コーチ)の判断に委ねる。

(5) 服 装

- ① 監督・コーチ・選手は競技規定に沿った清潔な白の空手着を着用すること。空手着メーカについては指定しない。なお、左胸に地区協議会名を入れること。
(6ページ参照)
- ② 監督(1枚)・コーチ(6枚)・選手のIDカードを発行する。
- ③ 監督・コーチはマスクを着用する。(コロナの状況でフェイスシールド(持参)を着用する可能性あり)
- ④ 選手は、競技中以外はマスクを常時着用のこと。
※マスクは白・無地
- ⑤ 出場選手全員に参加章(ワッペン)を交付するので、それを競技時着用空手着の左肩口に必ず縫い付けること(6ページ参照)
- ⑥ 赤・青帯は各自全空連で検定された帯を用意し着用すること。主催者では用意しない。

10 表彰

(1) 国体方式に基づき、各種目の入賞者に次の得点を付与する。

【団体戦】

- ① 組手競技 1位 40点 2位 35点 3位 30点 (2チーム) 5位 12.5点 (4チーム)
- ② 形競技 1位 40点 2位 35点 3位 30点 (2チーム) 5位 15点 (2チーム)
7位 10点 (2チーム)

【個人戦】

- ① 組手競技 1位 8点, 2位 7点, 3位 5点(2名), 5位 2.5点(4名)
 - ② 形競技 1位 8点, 2位 7点, 3位 5点(2名), 5位 3点(2名), 7位 2点 (2名)
- (2) 総合得点が同点の場合は優勝者数の多い地区協議会を上位とする。
(3) さらに同点の場合はすべてを同点優勝とする。
(4) ベスト8以上の選手を表彰する。
※ベスト8入賞者は、必ず表彰式に参加すること。

11 審判員 審判員は、公益財団法人全日本空手道連盟公認審判員をもって次により編成する。

- (1) 各都道府県が推薦した全国組手審判員及び地区形審判員以上の資格を有する審判員を大会審判員に委嘱する。なお選手が参加する都道府県は最低2名以上の審判員を推薦すること。
- (2) 上記にかかわらず、大会審判員に不足が生じた場合は、当該地区協議会にて不足分を選出し、その他は別途協議する。

12 安全管理

- (1) 選手は、本大会前1週間以内に各自で健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。
- (2) 傷害保険を、主催者側の負担により参加選手全員に付保する。
- (3) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置を施す。
- (4) 保護者、監督又は選手本人において、出場選手が利用できる健康保険証を携行すること。

13 出場資格

- (1) 出場選手、監督及びコーチは、公益財団法人全日本空手道連盟会員であること。
- (2) 監督及びコーチは、公益財団法人日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上、または地区組手審判員以上の資格を有する者であること。
- (3) 個人戦団体戦共に、出場選手は各地区協議会が選出した代表選手であること。また全空連段位または級位を保有していること。
※上記出場資格は、各地区協議会で十分チェックすること

14 出場費

- (1) 個人戦 (組手・形) 1種目 1人 5,000円
- (2) 団体戦 (組手) 1種目 1チーム 20,000円
- 団体戦 (形) 1種目 1チーム 15,000円

※納入後の出場費は返金しません

(3) 申請方法

参加申し込み方法

- ① 申込みファイルを完成させ、下記のメールアドレスへ送信

北海道地区協議会 書記長 村木 優公 宛
メール h-chikukyo@karate-hokkaido.jp

- ② 関係書類を印刷後、下記へ郵送ください。

〒077-0024 北海道留萌市千鳥町4丁目91番地
北海道留萌高等学校 村木 優公 宛

参加費納入先

北海道地区協議会
普通口座 北洋銀行 豊平支店 【普】 3240408

※払込取扱票に個人戦形・組手人数 団体戦形・組手チーム数を明記し、必ず地区協議会一括で申し込みをしてください。

15 申込期限 申込受付期間：2022年11月15日(火)～11月29日(火)

※大会についての不明な点、質問等に関しては下記に連絡ください
電話 011-820-1627 FAX 011-820-1628 北海道空手道連盟事務局

16 宿泊等

- (1) 宿泊・交通費は自己負担とする。
- (2) 宿泊・弁当は大会運営に協力を頂き主管団体の指定する下記旅行会社を通して予約をお願いいたします。

近畿ツーリスト(株)札幌法人旅行支店

「第2回全日本少年少女空手道選抜大会」受付デスク

〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西2丁目2-1 NX札幌ビル6F

17 肖像権について

本大会は、大会の様をインターネットのライブ配信を予定している。関係者にもその案内を出すことを予定している。これらの事情から、肖像権の取り扱いについて下記の通りとする。

- (1) 公益財団法人全日本空手道連盟が認めたライブ配信業者等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがある。
- (2) インターネットのライブ配信に際して、個人情報(氏名、所属など)、大会記録等を公表することがある。
- (3) 本大会参加申し込みにより、上記(1)(2)の取り扱いに関する承諾をいただいたものとして対応する。

18 その他

- (1) ゼッケンは主管団体で作製し、1月中旬頃までに地区協議会あてに送付する。各地区協議会において査収の上、出場選手に配布すること。その際、ゼッケンが縫い付けられていないと参加できないことを告知し、しっかり縫い付けるよう指導すること。なお、種目・男女別のゼッケンの色分けは次のとおり。

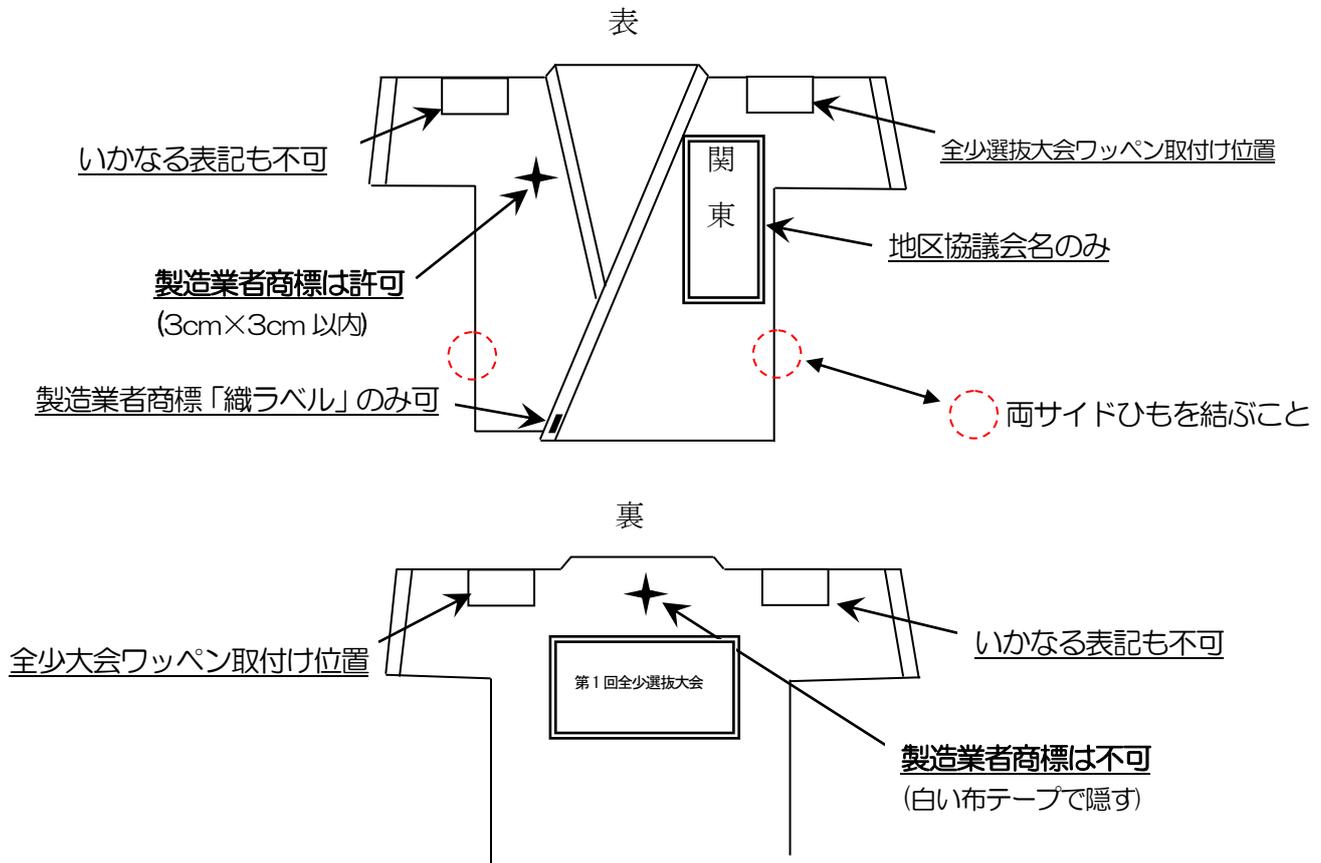
	男子	女子
組手(個人)	青	赤
組手(団体)	水色	桃
形(個人)	緑	紫
形(団体)	黄緑	オレンジ

※個人団体2種目出場は個人戦用を上 団体戦用を下に縫い付けてください。

- (2) ゼッケンと併せて参加章(ワッペン)を送付するので、地区協議会において出場選手に配布し、大会実施要項のとおり左肩口への縫い付けを指導すること。
- (3) 出場申込書提出後の選手の変更は認めない(監督・コーチの変更も不可)。
- (4) 監督は当日欠席する選手が出た場合、開場後ただちに欠席届を提出すること

ワッペン・ゼッケン・胸マークについての注意事項

空手着の製造業者商標のラベルの表記については、製造業者が上衣の裾表側、ズボンの表側（左右どちらか）にはじめから付けられた「織ラベル」は可。今大会で指定された以外のワッペン、刺繍等は一切認めない。※各流派のオリジナルラベルは認める。



1. ゼッケンの色は右図のとおりです。

	男子	女子
組手 (個人)	青	赤
組手 (団体)	水色	桃
形 (個人)	緑	紫
形 (団体)	黄緑	オレンジ

- ゼッケンはしっかり縫い付けてください。
- ワッペンは「左肩口」に必ず縫い付けてください。
- 胸マークのサイズは「縦 15 cm × 横 10 cm」です。
- 上記の「地区協議会名ワッペン」、「参加章ワッペン」以外のワッペン等を縫い付けることは認められません。

以上、厳守くださいますようお願い申し上げます。